

「哲学の理想」 歴史年表

久保田英文作製

目次

ローマ帝国年表	ピウス帝死去からコンスタンティヌス帝死去まで。――	2
日本史年表	聖徳太子の死去から大海人皇子の即位まで――	4
織田信長年表	誕生から安土城焼亡まで。――	5

Copyright © Hidefumi Kubota 2010

ローマ帝国年表

ピウス帝死去からコンスタンティヌス帝死去まで。

161年	アントニヌス・ピウス帝死去。
169年	マルクス・アウレリウスとルキウス・ヴェルス、共同皇帝として即位。
177年	ルキウス・ヴェルス帝、病死。
180年	マルクス帝、息子コモドゥスを共同皇帝にする。
180年	マルクス帝、軍団の冬営地で死去。
192年	コモドゥス帝、暗殺される。
193年	ペルティナクス、皇帝即位後に殺害される。
	ディヴィウス・ユリアヌス、皇帝即位後に殺害される。
	軍団に推挙されていたセプティミウス・セヴェルスとクロディウス・アルビヌスが共同皇帝として即位。
197年	セヴェルス帝がアルビヌス帝を破り、単独皇帝に。
198年	セヴェルス帝、息子カラカラを共同皇帝にする。
209年	セヴェルス帝、息子ゲタを共同皇帝にする。
211年	セヴェルス帝、死去。
212年	カラカラ帝、ゲタ帝を殺害。
	カラカラ帝、アントニヌス勅令を発布。
217年	カラカラ帝、暗殺される。
	マクリヌス、軍団に推挙され皇帝に即位。
218年	マクリヌス帝、殺害される。
	ヘラガバルス、皇帝に即位する。
222年	ヘラガバルス帝、殺害される。
	アレクサンデル・セヴェルス、皇帝に即位。
235年	アレクサンデル・セヴェルス帝、殺害される。
	マクシミヌス・トラクス、軍団に推挙され即位。
238年	ゴルディアヌスと息子ゴルディアヌス2世、元老院の賛同により即位。
	ゴルディアヌス父子帝、軍団の攻撃により死去。
	マクシミヌス・トラクス帝、軍団により殺害される。
	元老院議員パピエヌスとバルビヌス、共同皇帝として即位。
	パピエヌス帝とバルビヌス帝、殺害される。
	ゴルディアヌス三世、皇帝に即位。
244年	ゴルディアヌス三世帝、暗殺される。
	フィリップス・アラブス、皇帝に即位。
248年	ローマ建国一千年祭。
249年	フィリップス・アラブス帝、自死。
	デキウス、皇帝に即位。
251年	デキウス帝、蛮族との戦いで戦死。
	トレボニアヌス・ガルス、皇帝に即位。
253年	エミリアヌス、軍団により皇帝に推挙される。
	ヴァレリアヌス、軍団により皇帝に推挙される。
	トレボニアヌス帝、エミリアヌス勢と戦い、戦死。
	ヴァレリアヌス、エミリアヌスを敗死させる。
	ヴァレリアヌス、皇帝に即位する。
	ヴァレリアヌス帝、息子ガリエヌスを共同皇帝にする。
260年	ヴァレリアヌス帝、ペルシア軍に捕らわれる。
	ポストゥムス、ガリア帝国を創設する。

III 歴史の解明 ◆ローマ帝国衰亡の原因・カルタゴの復讐

261年	ガリエヌス帝、元老院と軍隊を分離させる法律を定める。
268年	ガリエヌス帝、殺害される。 クラウディウス、皇帝に即位。
270年	クラウディウス帝、病死。 アウレリアヌス、皇帝に即位。
272年	アウレリアヌス帝、パルミラ王国を滅ぼす。
273年	ガリア帝国皇帝テトリクス、アウレリアヌス帝に降伏する。
275年	アウレリアヌス帝、殺害される。 元老院、老齢のタキトゥスを即位させる。
276年	タキトゥス帝、自然死。 フロリアヌス、元老院により皇帝に指名されるが、警護兵に殺害される。 プロブス、軍団の推挙により、皇帝に即位。
282年	プロブス帝、殺害される。 カルス、皇帝に即位。
283年	カルス帝、長男カリヌス、次男ヌメリアヌスを共同皇帝にする。 カルス帝、落雷で死去。 ヌメリアヌス帝、暗殺される。
284年	カリヌス帝、戦いの最中に暗殺される。 ディオクレティアヌス、皇帝に即位。
293年	ディオクレティアヌス、マクシミアヌスを帝国西方の皇帝にする。 第一次「四頭政」の開始。
303年	東方は正帝ディオクレティアヌス、副帝ガレリウスが担当。 西方は正帝マクシミアヌス、副帝コンスタンティウス・クロルスが担当。 ディオクレティアヌス、マクシミアヌスと共に退位。 第二次「四頭政」開始。
306年	東方は正帝ガレリウス、副帝マクシミアヌス・ダイアが担当。 西方は正帝コンスタンティウス、副帝セヴェルスが担当。 西方正帝コンスタンティウス病死。麾下の軍勢がコンスタンティウスを正帝に擁立する。
308年	ガレリウス帝、西方正帝セヴェルス、西方副帝コンスタンティウスとする。 マクシミアヌスの子、マクセンティウス、ローマ市で皇帝宣言。 西方正帝セヴェルス、マクシミアヌスに倒される。
309年	東方正帝ガレリウス、ディオクレティアヌス、マクシミアヌスと会談し、西方正帝リキニウスとする。
310年	マクシミアヌス、コンスタンティウスを倒すためのクーデターを起こす。
311年	コンスタンティウス、マクシミアヌスを倒す。
312年	東方正帝ガレリウス死去。西方正帝リキニウスが東方正帝に横滑りする。
313年	コンスタンティウス、ミルヴィウス橋の戦いで、マクセンティウスを倒す。 東方正帝リキニウス、反乱を起こした東方副帝マクシミアヌスを倒す。
315年	ミラノ勅令によりキリスト教が公認される。 西方正帝コンスタンティウス、東方正帝リキニウスと戦って勝利。 リキニウス帝の勢力は小アジア以東となる。
324年	コンスタンティウス帝、リキニウス帝と戦って勝利し、ローマ帝国の単独皇帝となる。
326年	コンスタンティウス帝、長子クリスプスを処刑する。
330年	新都コンスタンティノーブルの完成祝賀式典が挙行される。
337年	コンスタンティウス帝、病死。

日本史年表 聖徳太子の死去から大海人皇子の即位まで

622年	厩戸皇子が斑鳩宮で死亡する。
626年	蘇我馬子が死亡する。
628年	推古天皇が死亡する。
629年	推古天皇の遺詔により、山背大兄王（聖徳太子の長子）ではなく、田村皇子が即位する（舒明天皇）。
641年	舒明天皇が死亡する。
642年	舒明大後の宝皇女が即位する（皇極天皇）。
643年	山背大兄王が蘇我入鹿の軍勢に襲われて自殺する。
645年	蘇我入鹿が飛鳥板蓋宮で殺害される。入鹿の父、蘇我蝦夷は自殺する。舒明天皇と蘇我馬子（蘇我蝦夷の父）の娘の間の皇子、古人大兄皇子は出家する。皇極天皇が弟の軽皇子に譲位する（孝徳天皇）。
646年	孝徳天皇が難波に遷都する。
653年	孝徳天皇が改新の詔を発する。
654年	前大王皇極、中大兄皇子に奉じられて難波から飛鳥に移動する。
655年	孝徳天皇が難波で死亡する。
658年	前大王皇極が飛鳥で即位する（斉明天皇）。阿倍比羅夫が東北に遠征する。
661年	孝徳天皇の皇子、有馬皇子が謀反の疑いにより処刑される。百済救援のために筑紫におもむいた斉明天皇が死亡する。
663年	中大兄皇子が称制を開始する。
668年	白村江の戦いで、倭・百済連合軍が唐・新羅軍に大敗する。
670年	中大兄皇子が近江大津宮で即位する（天智天皇）。
671年	天智天皇、庚午年籍を作成させる。
672年	天智天皇が死亡する。
673年	壬申の乱。大海人皇子が大友皇子を破る。大友皇子は自殺する。大海人皇子が飛鳥で即位する（天武天皇）。

織田信長年表 誕生から安土城焼亡まで。

1534 (天文 3) 年	織田信秀の子、織田信長生まれる。
1549 (天文 18) 年	信秀の命により信長、斉藤道三の娘、濃姫と結婚する。
1551 (天文 20) 年	父信秀死す。
1553 (天文 20) 年	信長傅役平手政秀諫死。 正徳寺にて信長と道三、会見する。
1555 (弘治 1) 年	信長、清洲城を奪う。
1556 (弘治 2) 年	長良川の戦い。斉藤道三戦死する。
1557 (弘治 3) 年	信長、弟信行を殺す。
1559 (永禄 2) 年	信長、尾張を統一する。 信長、単身上洛し、将軍足利義輝に拝謁する。
1560 (永禄 3) 年	信長、今川義元を桶狭間に破る。
1561 (永禄 4) 年	信長、森辺の戦いで、斉藤龍興軍に敗れる。
1562 (永禄 5) 年	信長、松平元康 (後の徳川家康) と同盟する。
1563 (永禄 6) 年	信長、小牧山に築城する。
1565 (永禄 8) 年	松永久秀と三好三人衆が将軍、義輝を暗殺する。
1566 (永禄 9) 年	信長、木下藤吉郎 (後の豊臣秀吉) を使って墨俣に砦を築く。
1567 (永禄 10) 年	信長、斉藤竜興を追って、美濃を征服する。 信長、井之口を岐阜と改称する。
1568 (永禄 11) 年	信長軍、北伊勢を平定する。 信長の妹、お市の方、浅井長政に嫁す。 信長、足利義昭を奉じて上洛し、三好三人衆を追って、足利幕府を再興する。
1569 (永禄 12) 年	
1570 (元亀 1) 年	信長、二条城築城を開始する。 信長、将軍義昭に条書五箇条を送る。 信長、越前討伐中に浅井長政離反の報を受け、全軍退却する。 信長、浅井・朝倉軍を姉川に破る。
1571 (元亀 2) 年	石山本願寺、信長に対して挙兵する。
1572 (元亀 3) 年	信長、比叡山を焼き討ちする。 信長、将軍義昭に十七カ条の異見書を送る。
1573 (天正 1) 年	上洛途上の武田信玄、家康を三方原に破る。 将軍義昭挙兵する。 武田信玄死す。 信長、将軍義昭を追放する。 信長、朝倉氏を滅ぼす。
1574 (天正 2) 年	信長、浅井氏を滅ぼす。 信長、蘭奢待をうける。
1575 (天正 3) 年	信長、伊勢長島の一向一揆を鎮圧する。 信長、長篠の戦いで武田勝頼を破る。 信長、嫡子信忠に家督と濃尾二国を譲る。

III 歴史の解明 ◆本能寺の変について

1576 (天正 4) 年	信長、安土築城に着手し、安土に移る。 第 1 次木津川口の戦いで、信長水軍、毛利水軍に敗れる。
1577 (天正 5) 年	松永久秀謀反する。 手取川の戦いで、柴田勝家が上杉謙信に敗北。 信長、羽柴秀吉に中国地方の征伐を命ずる。
1578 (天正 6) 年	上杉謙信死す。 信長、第 2 次木津川口の戦いで鉄甲船により毛利水軍を破る。 荒木村重謀反する。
1579 (天正 7) 年	安土城完成する。 信長、安土城下で浄土宗、日蓮宗の法論を行わせる。(安土宗論)
1580 (天正 8) 年	信長、石山本願寺と和す。 信長、佐久間信盛を追放する。
1581 (天正 9) 年	信長、京都で馬揃えを催す。 羽柴秀吉、鳥取城を落とす。
1582 (天正 10) 年	
1 月	大友・大村・有馬の三大名が天正遣欧少年使節を派遣する。
3 月 11 日	信長、武田勝頼を滅ぼす。
5 月 15 日	家康、信長への挨拶のため、安土城へ参上する
5 月 17 日	信長、光秀の家康饗応役を免じ、光秀は近江坂本城に帰る。
5 月 26 日	光秀、丹波亀山城に入城する。
5 月 27 日	光秀、亀山城より愛宕山に登る。
5 月 28 日	光秀、愛宕威徳院にて連歌を催す。
5 月 29 日	信長、安土から上洛する。
6 月 1 日	信長、本能寺で公家衆などに茶器を披露する。 光秀、丹波亀山城を出立する。
6 月 2 日	光秀、本能寺の信長と二条城の嫡子信忠を襲撃する。信長、信忠とも
6 月 4 日	自刃する。 光秀勢が近江をほぼ平定する。 秀吉、毛利氏と講和を結ぶ。
6 月 5 日	家康、岡崎城に帰還する。
6 月 6 日	光秀、安土城に入る。
6 月 7 日	秀吉、備中高松を引き払う。
6 月 8 日	光秀、安土城で勅使を迎える。 光秀、坂本城に帰る。
6 月 9 日	秀吉、姫路城に入る。
6 月 10 日	光秀、上洛する。朝廷、寺社に銀子を献上する。
6 月 11 日	光秀、河内に陣を進め、洞ヶ峠に着陣する。
6 月 12 日	光秀、下鳥羽に帰陣する。
6 月 13 日	秀吉、天王山を占拠する。
6 月 15 日	山崎の戦い。秀吉、光秀を破る。光秀、農民に殺される。 安土城焼亡する。